



組織の垣根を飛び越えよう！

主催：松阪市市民活動センター（指定管理者：NPO法人 Mブリッジ）
後援：松阪市

地域力アップ講座

地域には、あらゆる主体（自治会、住民協議会、市民活動団体、学校、行政、企業など）が存在し、役割に応じて独自に活動しています。しかし、これからの時代は“地域課題の解決”に向け、複数の主体が垣根を越えて“協働（※）”し、新たな取り組みを展開していくことが望めます。自分たちが暮らす地域を自分たちの力で元気にするために、改めて“協働”について理解し、“地域力アップ”を目指しましょう！

（※）協働とは…同じ目的のために、複数の主体が対等な立場で力を合わせて活動することを言います。

内容 松阪市の協働の現状を知る、協働の基礎を学ぶ、課題解決のためのワークなど ※講座内容は変更になる場合がございます。

対象 市民活動団体、自治会、住民協議会 など
※同団体から複数（2～3名）でのご参加をお勧めします。

参加費 2,000円 ※参加費は当日受付にてお支払いいただきます。
※事前にご連絡がない無断キャンセルは全額のキャンセル料を頂戴いたします。

定員 30名程度 **申込締切** 7月7日（月） **申込方法** お電話、FAX、メールにて受け付けます。
「組織名」、「ご連絡先」、「参加者名」をお伝えください。

お申込先 松阪市市民活動センター TEL:0598-26-0108 FAX:0598-25-3803 Mail:katsudou@ma.mctv.ne.jp



かわきた ひでと
講師：川北 秀人 氏

- ・IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者
- ・(般社) ジャパン・オンパク 理事(2010年より)
- ・(財) 日本自然保護協会 評議員(02年より)
- ・(特) 自然体験活動推進協議会(CONE) 監事(05年より)
- ・(公社) チャンス・フォー・チルドレン 理事(14年より)
- ・総務省 地域運営組織(RMO) による総合生活支援サービスに関する研究会 委員 など

下記の日程で休館となります。 ※この日は会議室などのご利用ができません。予めご了承ください。

祇園まつり 7月19日(土)・20日(日)

七夕まつり 鈴の音市 8月2日(土)

センターは休館ですが「鈴の音市」に取材にいきます！



当センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。

ちょっとと編集後記……………

7月は当センター主催のイベントが目白押しです！皆さんのご参加を心からお待ちしております。[S]

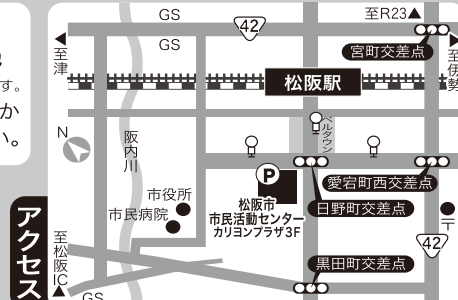
次号は2014年8月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2014/7/31（木）です。 担当／澤

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜～土曜日／10:00～22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801 ◀予約専用 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

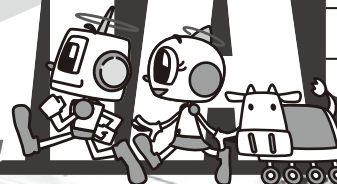
利用 会議室 大会議室…机10 椅子30 (600円) 機材等 印刷機(紙持込) / コピー機
小会議室1…机4 椅子12 (150円) マイク / プロジェクター 他
小会議室2…机6 椅子18 (200円) 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。
料金は1時間。小会議室の組み合わせ可。外会議室…机8 椅子24 (400円) 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくか
お電話にて予約後、ご提出ください。

情報提供 ▼ 松阪市市民活動センターホームページ
http://www.katsudou.com
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/



AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity



〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜～土曜日／10:00～22:00

(予約専用)
TEL 0598-25-3801
0598-26-0108

FAX 0598-25-3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

～アロマ～ No.53



今号は…
NPO法人エールの会 さんです

NPO法人エールの会は、平成13年、介護保険の導入や地域医療の見直しなど、医療・福祉に不安が高まり始めた時代に「松阪で生活する誰もが、住み慣れた場所で自分らしく生きられる仕組みをつくりたい」と、当時の市民病院の看護師を中心に設立された。現在は正会員15名、賛助会員45名。医療・福祉の従事者や障がい児の親が多く、現場をよく理解した立場からこの活動に参加し、宅老所事業や高齢者・障がい者の生活支援を行っている。

同 法人の活動は多岐にわたる。中でも、夏休み期間中の16日間、松阪管内の障がい児を預かる「障がい児サマースクール」は活動の主軸でもある。家族の介護負担の軽減・障がい児と社会との交流などを目的に松阪市が主催、プログラムの作成や運営を同法人と社会福祉協議会が担っている。「障がい児は地域の子どもと一緒に遊ぶのが難しい。特別支援学校に行っていると、地域との交流も少なくなりがち」と語るのは、会員の落合泰子(おちあい・やすこ)さん。自身も障がいを持つ娘の親でもある。その思いから、地域の民生委員や学校の先生、学生、障がい者作業所の職員、ボランティアなどにも呼びかけ、障がい児と地域の接点を増やし、顔の見える関係を築くことを目指している。



サポートブック作成の様子。



代表：殿村さん

井上さん

落合さん

この事業から生まれたのが、障がい児一人ひとりの意思疎通の手段を記した「サポートブック」だ。「障がい児とよりよいコミュニケーションをとりたい」というボランティアの声が形となった冊子だ。「介護に携わる『当事者』の視点も大切にしています」と代表・殿村峰代(とのむら・みねよ)さん。今後は、障がい者の親亡き後を保障する「成年後見制度」に注力していく予定だ。

成年後見制度は、認知症や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人を保護・支援していく制度。後見人には、不動産や預貯金などの管理をする「財産管理」と、被後見人がその人らしい生活をおくるための支援をする「身上監護」の2つの役割がある。「障がい者は支援学校に通う間は、学校や障がい児地域デイスサービスなどで色々な人と関わる機会があるが、学校を卒業すると世界がぐっと狭くなる」と会員の井上泰之(いのうえ・やすゆき)さん。後見人には通常、弁護士などの専門職になることが多いが、地域との関わりがないと、大規模災害が起こった時などに忘れられた存在となる可能性も高い。そこで、地域デイスサービス事業などに関わった市民に成年後見制度の重要性を伝え、市民後見人となってもらうことで、障がい者が地域とふれあいながら生きていく仕組みを模索している。今年度は、成年後見についての勉強会や市民後見についての講演会を開催する予定だ。興味のある方は、ぜひ参加してほしい。

【問】0598-29-1653 (担当：落合さん)

市民活動団体集まれ～！

市民活動団体交流会開催

2014年

のお知らせ

日時

7月25日(金) 19:00～

場所

松阪市市民活動センターにて

この地域には、いろんな分野の市民活動団体さんが数多く活躍してみえます。そんな市民活動団体さんの交流の場として今年も上記の日程で「市民活動団体交流会」を開催いたします。活動分野を越えて交流を持つことで、新しい取り組みのヒントが見つかるかもしれませんよ。お茶と茶菓子程度の簡単なおもてなしですが、ワイワイと楽しみながらスタッフ共々交流できればいいな～と考えています。登録団体以外の市民活動団体さんも参加可能ですので、この機会に当センターの団体交流会に是非ご参加ください。

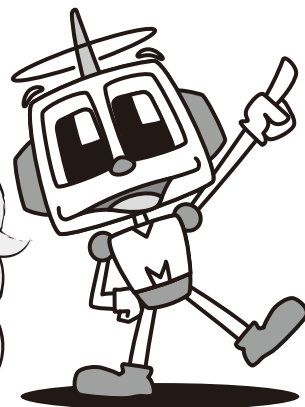
参加無料

同日開催

平成26年度 TRI 夢・街・人づくり助成金 事前説明会

※説明会のあと、そのまま交流会を行います。

市民活動団体にとって“活動資金”は悩みのタネ…。その悩みを少しでも解決できるかもしれませんよ。助成金の事前説明会は団体交流会の一部として参加無料で実施します。



鈴の音市の会場で お会いしましょう！



今年で21回目を迎え、すっかり夏の風物詩として定着した「鈴の音市」。市民がつくる“楽市楽座”というだけあって、プロの露天商の出店もなく、この地域の商店街の皆さんや、当センターの登録団体も多く出店します。今年は鈴の音市の会場をフットワーク軽く動き回り、出店する市民活動団体に取材しちゃおうと思います！取材スタッフが皆さんのブースを訪れた際には、最高の笑顔でお出迎えしてもらえると嬉しいです～

東海ゴム工業株式会社 × 松阪市市民活動センター

～企業＋NPO の協働コミュニティサポート事業～

TRI 夢・街・人づくり助成金 in 松阪・明和多気・大台

平成26年度

助成対象事業募集!!

募集期間

2014.8.1(金)～8.31(日)

対象事業

- (1) 障がい者福祉に関する事業
- (2) 文化・芸術の振興を図る事業
- (3) 青少年の健全育成を図る事業
- (4) 安心・安全な社会づくりに関する事業
- (5) 環境との共生を図る事業
- (6) 2つ以上のセクターが連携した事業

助成金額

夢づくりスタート部門 上限 5万円(最大3団体)
街・人づくり部門 上限 10万円(最大2団体)

まずは事前説明会にご参加ください。

お問合せ
お申込み

TEL 0598-26-0108 (担当：石丸／澤)
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

主催：東海ゴム工業株式会社・松阪市市民活動センター 後援(予定)：松阪市・明和町・多気町・大台町・NPO法人めいわ市民活動サポートセンター

松阪市
市民活動センター

打ち水大作戦2014

今年で7回目となる打ち水大作戦(※1)。今年も「松阪市商店街連合会」と「松阪市自治会連合会」の賛同を得て実施します。この日まで“二次利用水(※2)”をご準備いただき同時刻に打ち水しましょう！いくつかの自治会から「毎年、この時期の打ち水大作戦を楽しみにしている」という嬉しいお言葉もいただいています。打ち水大作戦は、“お祭り”のように一ヶ所に集まって行うイベントではありません。各地域で一斉に実施していただくことで「ほんの少し、この地域の気温を下げよう！」というエコな取り組みです。江戸時代から受け継がれる打ち水で熱い夏を乗り切りましょう！

※1：打ち水大作戦ってナニ？

東京のNPOが主となり、江戸時代の庶民の知恵「打ち水」がヒートアイランド現象に対してどのような効果を持つのか、決められた時間にみんなでいっせいに打ち水をして、その効果を検証しよう、という壮大な社会実験として2003年からスタートしました。

※2：二次利用水を使いましょう！

打ち水には「雨水」や「お風呂の残り湯」などをためて“二次利用水”として使いましょう。“水道の水を直接”打ち水に使うのはエコな取り組みと言えませんか。

打ち水大作戦本部ホームページ
【 <http://uchimizu.jp> 】

2014年

日時

7月23日(水)大暑 10:30～

※準備した二次利用水がなくなり次第終了

場所

松阪市日野町カリヨンプラザ1Fにて

市民活動用語解説コーナー【Vol.11】

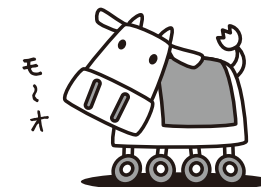


あのコトバ
このコトバ

市民活動に関する“コトバ”をピックアップして解説していきます。今回のコトバは…

ダイアログ

一般的には「対話」と訳されますが、組織の人材育成や基盤強化などの視点で用いられる場合、単に対話としてではなく“創造的なコミュニケーション”のあり方を指します。ダイアログを実施することで、話す側、聞く側が相互的に理解を深め、意識を共有し、行動するきっかけを作るといった効果が期待されます。他にも、組織内部だけでなく、NPOと企業、企業と行政など、異なる主体が地域課題の解決に取り組む場合などにも有効です。ダイアログをスムーズに行うためには、組織外部からファシリテーターを招くのも1つの方法です。組織の基盤強化、人材のスキルアップにダイアログを実践してみたいかどうか。



身近なCSRを探して vol.25



地産地消の
“顔が見える”料理で
安心・安全を提供

松阪駅前の「せんばいの店 駅前食堂」を運営する株式会社相可フードネットでは、地元の農家や地元加工業者の食材を使い、化学調味料などは使わずに素材の味を生かした安心・安全な料理を提供しています。また、多気町の「せんばいの店」では、小さい子どもの母親が「添加物を使っていないので安心して食べられる」という理由からリピーターになってくれるそうです。地元産へのこだわりは食材だけではなく、割り箸にまで至ります。同店の割り箸の袋にはこう書かれています。「この割り箸は、三重県多気町片野の山本さん夫婦に作っていただいています。主に県内産のヒノキの間伐材などを使用しています。漂白剤を使っていないので、中には少し汚れたようにみえるものもありますが木の自然の色です。防腐剤などの薬品も一切使用していないので安心です」一。“顔”が見えること、地域のための取組をきちんと伝えることが同店のファンを増やすことにつながっています。

せんばいの店：株式会社相可フードネット
多気郡多気町仁田 750 番地 多気クリスタルタウンショッピングセンター内
【TEL】0598-38-4900

せんばいの店 駅前食堂
松阪市日野町 742-1
【TEL】0598-21-2100